

小田急沿線 自然ふれあい歩道

小田急沿線自然ふれあい歩道とは、
小田急沿線に点在する身近な自然や文化財などを紹介する
環境活動の一つです。コースは全70コース。
各コースの最寄り駅でチラシを配布しています。

狛江駅～喜多見駅(岩戸川緑道)コース

緑豊かな緑道と古墳や社寺林を巡りながら、古代からの営みと
江戸時代初頭の豪族の足跡に思いをはせるコースです。

コース内の主なみどころ



【① 岩戸川緑地公園】

岩戸川は、狛江駅北西に位置する弁財天の池を水源とし、かんがい用水として利用されていましたが、宅地化の進行で地下化され、その跡地を利用し緑地公園として整備されました。なお、世田谷区内に入ると喜多見緑道と名前が変わります。



【② 八幡神社】

社殿は、1955年ごろまではかやぶき屋根でしたが、銅葺の屋根に変わりました。境内には鳥居の横に巨大なカヤノキなどの巨樹が見られます。なお、当社を含む一帯で大規模な遺跡が発見され、岩戸八幡神社遺跡とも呼ばれています。



【③ 慶元寺】

この寺は、1186年に創建した江戸氏の菩提寺です。厳肅な雰囲気、長い参道と、緑深い境内は印象的です。現在の本堂は1716年に再建されたもので、世田谷区内の寺院で現存するものとしては最古の建造物です。



【④ 区立稲荷塚古墳緑地】

緑地内の稲荷塚古墳は、直径約13m、高さ2.5mの円墳で、周囲に幅2.5mの周濠があったといわれています。古墳時代後期7世紀の砦(きぬた)地域の有力な族長の墓と考えられ、世田谷区指定史跡(古墳)に指定されています。



【⑤ 氷川神社】

成城、喜多見、砧地区の鎮守様で、創建は740年といわれます。二の鳥居は都内最古の部類に入り世田谷区有形文化財に、また節分祭行事(神事)と秋の祭礼に奉納される神前神楽は無形民俗文化財に指定されています。



【⑥ 区立滝下橋緑道】

滝下橋緑道は、かつて六郷用水であった場所を利用して整備された緑道です。六郷用水は、徳川家康が多摩川沿岸地域(六郷領)の新田開発のため、代官小泉次大夫に開削させた用水掘りで、別名「次大夫堀」とも呼ばれています。

スマートフォンをお持ちなら…

小田急沿線自然ふれあい歩道アプリを無料配信中!

スマートフォンのGPS機能を使って、現在位置の確認も可能。
お散歩のお供に、便利なアプリをご活用ください。



列車運行状況および
各駅時刻表はコチラから

小田急電鉄

検索

www.odakyu.jp



小田急市線
自然ふれあい歩道
コースマップ



ルート 合計約 4.9km

メイン
ルート

狛江駅 1100m、岩戸川緑地公園 330m、明静院 20m、八幡神社
1200m、慶元寺 350m、区立稲荷塚古墳緑地 500m、氷川神社
700m、区立滝下橋緑道 700m、喜多見駅

